

情報提供日	令和4年（2022年）8月13日（土）
問い合わせ先	広島市植物公園 栽培・展示課 藤井、高井 管理課 久保、富澤 TEL 082-922-3600

## 国内2例目・2年連続の開花 巨大コンニャク アモルフォファルス・デカス - シルヴァエが開花します

※ 詳しい開花状況については、082-922-3600までお問い合わせください。

広島市植物公園で栽培している巨大コンニャク「アモルフォファルス・デカス - シルヴァエ」が8月中下旬の深夜に開花します。

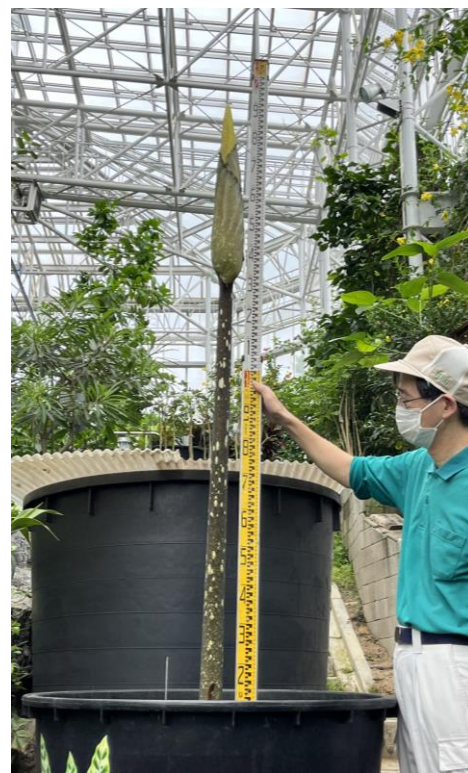
アモルフォファルス・デカス - シルヴァエはインドネシアのスマトラ島に自生するコンニャクの仲間で、世界一大きな花を咲かせる「ショクダイオオコンニャク」や世界一背の高い花を咲かせる「アモルフォファルス・ギガス」の近縁種です。

今回の開花は「国内2例目・2年連続」となります。当園では2017年3月に苗を導入し、2021年3月に初めて開花しました。本種は国内外ともに栽培事例・開花事例が少なく、前回の開花は、国内の植物園における初めての開花でした。

現在、2回目の開花に向けて順調に生育しており、8月11日時点で高さは約190cmです。前回開花時（約288cm）に比べてやや背が低く、花も小さめですが、開花時には約2m程度の高さとなりそうです。

花の寿命は、2日程度と見ごろは短いですが、その間は他に類を見ない独特な外観の花を楽しめます。また、開花後しばらくの間（開花時から翌朝まで）は強烈な臭いも体験できます。

この機会にお見逃しのないよう、植物公園へお越しください。



現在の花（つぼみ）の様子（8/11撮影）

**アモルフォファルス・デカス - シルヴァエ** *Amorphophallus decus-silvae* Backer & Alderw.

インドネシア、スマトラ島固有種。巨大コンニャクの仲間で、高さ3m程度の花（花序）を咲かせます。苞（先端の部分）の中には、黄色い小さい花（雄花）が多数あります。昆虫などを引き寄せて受粉するため、苞が開くときに肉が腐ったような強烈な臭いを放つのが特徴です。

開園時間 午前9時から午後4時半まで（ただし、入園は午後4時まで）

入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料

休園日 毎週金曜日